

証券コード：6549 ディーエムソリューションズ株式会社 代表取締役社長 花矢 卓司

## 第19回定時株主総会決議ご通知

2023年6月28日（水）開催の当社第19回定時株主総会におきまして、  
下記の通り報告及び決議されましたので、ご通知申し上げます。

### 報告事項

- 第19期（2022年4月1日から2023年3月31日まで）事業報告、連結計算書類並びに会計監査人及び監査役会の連結計算書類監査結果報告の件
- 第19期（2022年4月1日から2023年3月31日まで）計算書類報告の件

### 決議事項

定款一部変更の件  
以上

## ➤ 会社情報（2023年3月31日現在） About us

### ● 会社概要

商号	ディーエムソリューションズ株式会社	従業員数（連結）	正社員275名、その他196名
証券コード	6549	事業内容	・ダイレクトメール及び宅配便の発送をワンストップで行う発送代行事業 ・Webマーケティングサービス及び自社メディアサイトの運営等を行うインターネット事業 ・ECサイトによる衣料品及び雑貨の卸販売を行うアパレル事業
設立	2004年9月15日		
資本金	3億4,259万円		
本社所在地	東京都武蔵野市御殿山1丁目1-3 クリスタルパークビル2F		

### ● 役員（2023年6月28日現在）

代表取締役社長	花矢 卓司
取締役副社長	福村 寛敏
取締役	勝山 純一
取締役	木村 和央
取締役	小林 剛司
取締役 <sup>※1</sup>	松藤 悠
常勤監査役 <sup>※2</sup>	宮本 則昭
監査役 <sup>※2</sup>	齋藤 哲男
監査役 <sup>※2</sup>	高見 之雄

※1 社外取締役 ※2 社外監査役

### ● 拠点情報

<b>愛知県</b> <ul style="list-style-type: none"><li>名古屋営業所</li><li>名古屋メールセンター</li></ul>	<b>宮城県</b> <ul style="list-style-type: none"><li>仙台営業所</li></ul>
<b>大阪府</b> <ul style="list-style-type: none"><li>大阪営業所</li><li>大阪メールセンター</li></ul>	<b>東京都</b> <ul style="list-style-type: none"><li>本社</li><li>三鷹メールセンター</li><li>八王子第1メールセンター</li><li>八王子第2メールセンター</li><li>八王子第3ロジスティクスセンター</li><li>八王子第4フルフィルメントセンター</li><li>八王子第5フルフィルメントセンター</li><li>日野フルフィルメントセンター</li></ul>
<b>福岡県</b> <ul style="list-style-type: none"><li>福岡営業所</li></ul>	<b>神奈川県</b> <ul style="list-style-type: none"><li>横浜営業所</li></ul>



ディーエムソリューションズ株式会社

〒180-0005 東京都武蔵野市御殿山1丁目1-3 クリスタルパークビル2F



証券コード：6549

## Business Report

ディーエムソリューションズ株式会社

2023年3月期 事業報告書 2022年4月1日～2023年3月31日

特集

2つのビジネスを基盤に新たな主力事業を創出し、  
次代を切り拓くソリューション・カンパニーへ。

ロジスティクスとマーケティングの力で  
世の中に必要とされるモノと情報を届け  
豊かな未来に貢献する

お客さまが求める「ソリューション」をリアル×ネットで創出する。



IRサイトのご案内

当社は、株主・投資家の皆様にタイムリーでわかりやすい情報発信を目指し、IRサイトの充実を図っております。ぜひ一度お立ち寄りください。



ディーエムソリューションズ IR

検索

スマートフォンでIRサイトへ

Webで閲覧可能

当社の株主通信は冊子、Webどちらでも閲覧することができます。



<https://ir-p.jp/dms/report/index.html>



株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。また、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。2023年3月期の事業活動と業績についてご報告させていただきます。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響が弱まりつつある一方で、ウクライナ情勢の長期化や世界的な原材料及びエネルギー価格の高騰等により、先行きの不透明な状況が続いております。

このような状況の下、主たる事業であるダイレクトメール事業のうち、DM発送代行サービスにおいては、強みである営業力

と価格競争力に加え、Web集客の強化（DX推進）及び顧客対応業務の効率化の好循環により、案件の受注が拡大いたしました。フルフィルメントサービスにおいては、前期に投資したハード面の増強と、それによる業務効率化が奏功したことにより、事業拡大が一層進展いたしました。インターネット事業におきましては、パーティカルメディアサービスのアルゴリズム変更の影響による低迷が継続したものの、収益基盤再構築のため、需要の高まるEC関連サポート領域において、フルフィルメントサービスとのシナジー創出のための体制整備を実施いたしました。アパレル事業では為替など外部環境の影響を大きく受けながらも、販売体制の強化、コストの見直しなどを推進いたしました。

その結果、売上高は18期連続の増収となり、各段階利益においても前期比大幅増益となりました。

2024年3月期は、当社の強みを生かした飛躍的成長に向け、各事業においてさらなる事業拡大、収益性向上に努めるとともに、各事業のシナジー創出によるEC事業者への支援サービスの強化を行ってまいります。株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2023年6月吉日  
代表取締役社長

花矢 卓司

➤ 目次 Contents

- P.1 当社の事業領域
- P.2 株主の皆様へ
- P.3 特集/トップ対談
- P.7 業績ハイライト

- P.9 ディーエムソリューションズ ラウンジ
- P.10 株式の情報  
(株式の状況・所有者別株式分布状況・大株主の状況・株主メモ)
- 裏表紙 第19回定時株主総会決議ご通知  
会社情報 (会社概要・役員・拠点情報)



## Conversation トップ対談

代表取締役社長 花矢 卓司 × 取締役副社長 福村 寛敏

2つのビジネスを基盤に新たな主力事業を創出し、次代を切り拓くソリューション・カンパニーへ。

- DM 発送代行サービスの好調継続。フルフィルメントサービスの事業拡大加速により前期比、大幅増収、増益を達成。期初の業績計画も大幅に超過。当社の強みを生かしEC関連領域の拡大を図り、さらなる企業価値向上を図ります。

— 当期を振り返ってみていかがでしょうか？

**花矢** 当期は前年同期比で、売上高は約7%増収の17,861百万円、営業利益も約4.7倍の462百万円と大きく伸長しました。当社の事業の柱であるDM発送代行サービスとフルフィルメントサービスが全体を牽引。アパレル事業は、円安などの厳しい事業環境の中にもかかわらず期初計画に沿って進捗しました。その一方で、インターネット事業は低迷しましたが、本社への拠点

統合により、他事業との新たな連携もスタートしました。来期の業績拡大に向けて強力な体制を再構築しているところです。

**福村** フルフィルメントサービスにおいて、EC事業者へのサービスが進化できたことは、当社の今後の成長にとって大きな財産です。商品の管理・発送を足がかりとして、ECサイトの管理や運営のサポートなどEC関連ビジネスの拡大に向けて、足場を固められた1年となりました。

**花矢** そうですね。パーティカルメディアサービス、デジタル

マーケティングサービスは、単独ビジネスでは競合が多いものの、単独ビジネスに加え、その戦力をフルフィルメントサービスやEC関連ビジネスの拡大に生かせることは、当社の大き

なアドバンテージだと思います。フルフィルメントサービス、EC事業者への支援ビジネスの進展により、当社の事業拡大の目標が明確になった1年だと思います。

- DM 発送代行、フルフィルメントは営業力と価格競争力により順調に推移。インターネットは低迷するも、来期の業績拡大に向けて体制を再構築。アパレルは個人向け販売の強化で来期に期待大。

— 各事業の推移について教えてください。

**花矢** DM発送代行サービスは、マーケットが横ばいの中で、右肩上がりに伸びています。営業力の強化という面では、新規から顧客を取り込む「セルマーケ」と、お客様ご自身に使っていただく「DMWEB」という2つのWebサービスにより、営業社員を介さずに顧客を獲得できる体制を整えました。こうしたDX化を進めることは、当社にとってもお客様にとっても非常にプラスになると考えています。




**福村** フルフィルメントサービスにおいては、ハード面の強化と価格競争力が好循環を生み、顧客獲得機会が進展しました。商品を自動的に仕分ける立体型ソーターの導入や社内DX推進による業務効率化などにより、まだまだ拡大に向けての余力は十分ですので、今後さらに順調に個数を伸ばしていきたいと考えています。

**花矢** その一方で、パーティカルメディアはアルゴリズム変更の影響を受け低迷が長期化しています。SEOメディアは継続しつつ、物販につながるようなメディアやSNSなど、さまざまな選択肢に取り組みながらEC支援につながるものを見つけていきたいです。

**福村** デジタルマーケティング事業部とパーティカルメディア事業部は組織を大きく再編しました。縦割りだった制作部隊を全て一つの部署に集約し、他事業と連携しながらEC支援サービスの強化を図っていきます。EC支援事業のコンサルと実務を兼ね備えたサービスをパッケージ化して、お客様に提供していきたいと考えています。ぜひ次の1年で実現させたいですね。

**花矢** アパレル事業は円安の影響を大きく受けるも、コストの見直しなどを推進したことで期初の予算計画に沿った状況まで回復しております。今後は個人向け販売を本格的に強化する予定です。

### 各事業 TOPICS

-  **ダイレクトメール事業**
  - ✓ 営業積極化+社内DXによる営業社員を介さないWeb完結受発注体制の進展
-  **インターネット事業**
  - ✓ 拠点統合による体制整備でEC関連サポートへのシナジー拡大
-  **アパレル事業**
  - ✓ 業務の効率化・DX推進+個人向け販売の強化

● コロナ禍でも変わらなかった継続的成長。今後に向けて、ダイレクトメール事業に頼らない新規事業を創出。

— コロナ以前から現在までの変化、今後の中長期的なビジョンなどお聞かせください。



**花矢** ここ数年、世界中で新型コロナウイルスの感染が広がり、当社の周辺でも影響を受ける企業が多くありました。しかし当社は、もともと複数のビジネスを展開しており、クライアントの数も多い。コロナの影響を受けない事業に注力していたので売上げもほとんど落ちませんでした。コロナ禍中にEC専門の物流拠点の拡大に向けて設備投資をしたことも当たりましたね。

**福村** Webミーティング化も大きかったですね。営業に行かなくても打ち合わせができる場や、ウェビナーを半ば強制的にできたことはメリットが大きかったと思います。コロナと関係のないお客様ともたくさんビジネスができるので、そういうお客様に全精力を注ぐことができました。Web化によって効率化が図れたのも良かったですよね。

**花矢** 将来的には、まずは売上高300億、営業利益率5%を達成したいと考えています。それもダイレクトメール事業だけではなく、他の事業も伸びるような投資をしていきたい。現状、ダイレクトメール事業に頼るところが大きいですが、既存2事業での収益も確保しながら、新たな柱となる事業を創出・育成し、さらに飛躍していきます。

● EC支援を最大の使命とし、全ての事業を展開。SEOからも脱却し、事業ポートフォリオの拡大を。

— 来期に向けてのメッセージをお願いいたします。

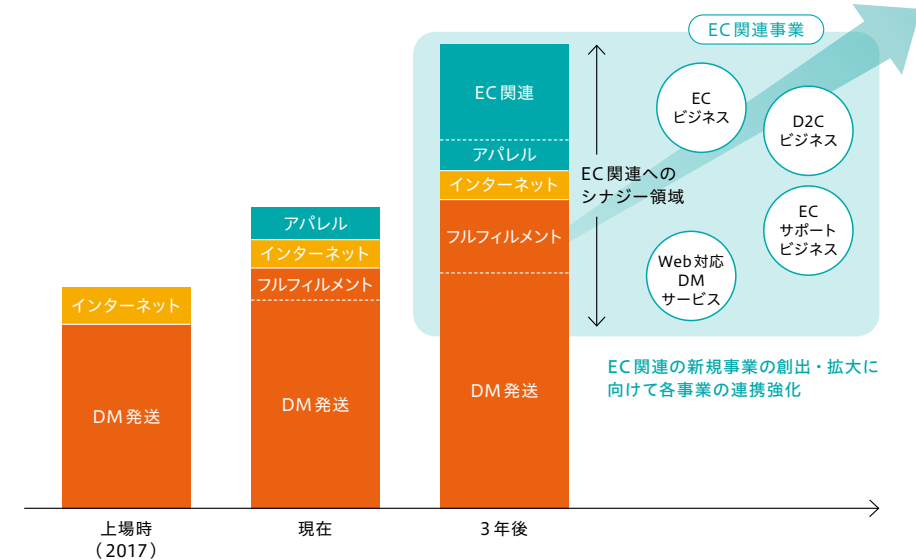
**花矢** 全体的な戦略としては、全てのビジネスをEC支援を中心にした考え方でやっていきます。当社が持っているインフラの垂直統合はECというキーワードでつながるので、その姿勢を貫いていけば、どこがヒットしても好循環が生まれると確信しています。

**福村** ECに注力することで、そこからもう一步踏み込んだダイレクトメールへのつなげ方も見据えていきたい。そうした新たなEC事業を深掘りしていきましょうということですね。そして、「SEOからの脱却」も目指します。2023年3月期はその足がかりをつくることのできたので2024年3月期は形にしていきたいですね。

**花矢** 2023年4月に、当社のPURPOSE、MISSION、VISION、VALUEを策定し直しました。事業を進めていく中で何かに行き詰まっても、それを基にマネジメントしていくことで、「社会に対して僕らはこういう価値を提供しているんですよ」「それによって、世の中の役に立っているんですよ」といった「働く意味と喜び」をあらためて認識してもらいたいと考えています。2024年3月期以降も、リアルとネット、2つのインフラを最大限活用し、EC支援領域を伸ばし他に類を見ないソリューション・カンパニーを目指して、事業ポートフォリオを拡大してまいります。



DM・フルフィル・ネットの当社のインフラを生かしEC関連へ事業領域を拡大



● 株主優待制度を拡充し、投資魅力を向上。さらなる事業拡大に向けて邁進いたします。

— 株主の皆様メッセージをお願いいたします。

**花矢** 2023年3月より、株主の皆様に対する中長期的な投資魅力をより高めることを目的として、年1回だった優待品の進呈を年2回に拡大しました。さらに1区分であった配布区分も保有株式数に応じた2区分にするなど、株主優待制度を拡充しました。

**福村** 配当については、利益10億円辺りから還元させていただきたいと考えております。今回のプランで10億円を目指せる基盤が整いましたので、ぜひ期待してください。

**花矢** 当社は上場して7年目になります。皆様には当社の株をお持ちいただき感謝しております。今後も、さらなる事業拡大に向けて邁進してまいりますので、株主の皆様には引き続き温かいご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。



▶ 業績ハイライト Financial highlights

2023年3月期 (単位:百万円)

	2022年3月期実績	2023年3月期実績	前期比	(期初計画)	計画比
売上高	16,682	17,861	107.1% ▲	17,972	99.3%
営業利益	98	462	467.9% ▲	220	210.0%
経常利益	101	477	470.2% ▲	223	213.9%
親会社株主に帰属する当期純利益	5	315	5,633.4% ▲	144	218.7%

- ☑ 前期比7.1%増収。各段階利益は、前期比大幅増益。
- ☑ ダイレクトメール事業の安定成長により、18期連続の増収を継続。

2024年3月期 (単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
連結業績予想	19,806	500	512	330

- ☑ 前期比10.9%増の198億円の売上を計画。
- ☑ 5つのビジネスを展開する強みを生かし、シナジーによる事業ポートフォリオの拡大へ。

決算説明動画

業績や今後の取り組みについての決算説明動画を配信しています。ぜひご覧ください。



<https://irp-system.net/presenter/?conts=01gsepr31ah2vzfk2arwpyttya>

IRメール登録のご案内

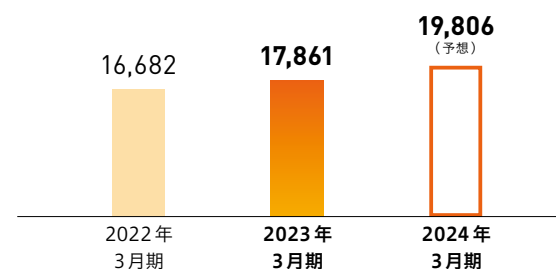
当社ではIRに関する情報をタイムリーにお知らせするIRメールを配信しております。ぜひ、ご登録ください。



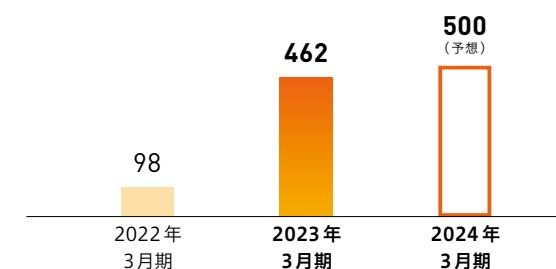
<https://www.magicalir.net/6549/mail/index.php>

(単位:百万円)

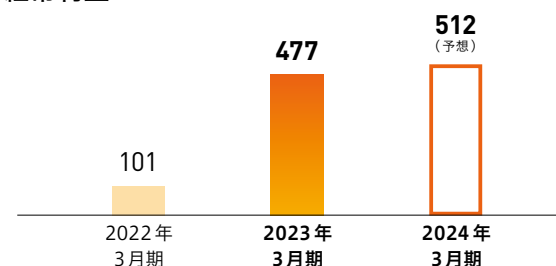
● 売上高



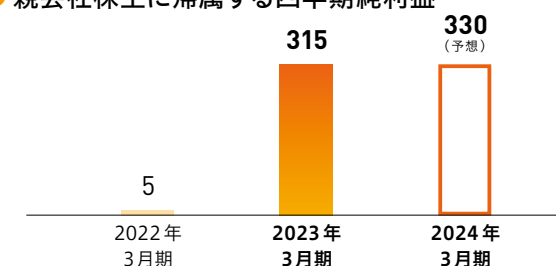
● 営業利益



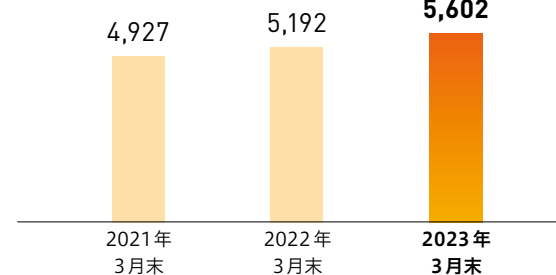
● 経常利益



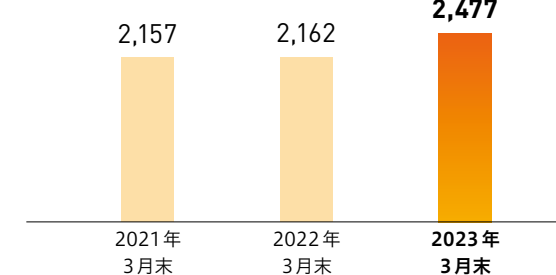
● 親会社株主に帰属する四半期純利益



● 総資産



● 純資産





事業のトピックスやお知らせなど、株主様とのコミュニケーションコーナーです。

年1回から2回に拡充&2区分の進呈内容に拡大

### ●株主優待制度

毎年、期末については3月31日、9月30日、翌年3月31日、中間については9月30日、翌年3月31日、9月30日各時点の株主名簿に連続して記載された、当社株式を2単元以上保有の株主様が対象となります。なお、保有株式数により2単元以上6単元未満（200株以上600株未満）と、6単元以上（600株以上）の2区分の進呈内容となります。



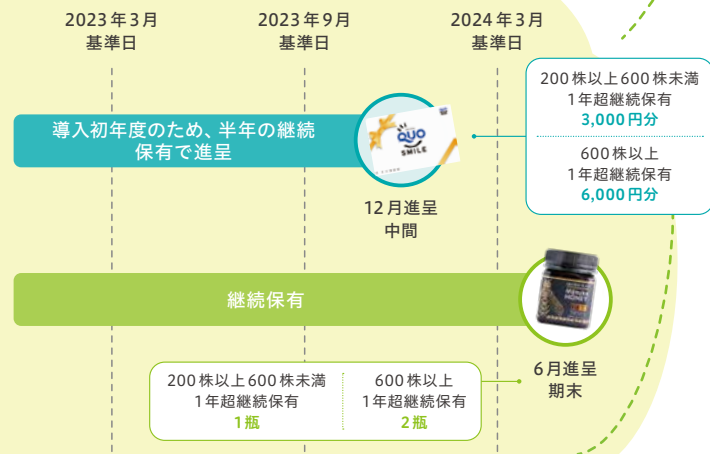
3月基準の期末株主優待（マヌカハニー）と9月基準の中間株主優待（クオ・カード）の年2回、優待品を贈呈。

### 次回、2024年3月期の中間株主優待（2023年12月進呈）について

2024年3月期、中間株主優待につきましては、導入初年度につき、1年超継続保有の条件を緩和し、半年以上継続保有していただいた株主様を対象といたします。

具体的には、2023年3月末日から9月30日末日の半年間、継続して2単元以上保有の株主様が対象となります。なお、保有株式数により2単元以上6単元未満（200株以上600株未満）と、6単元以上（600株以上）の2区分の進呈内容となります。

※今後、仕入れや在庫の状況によって商品が替わる場合がございます。

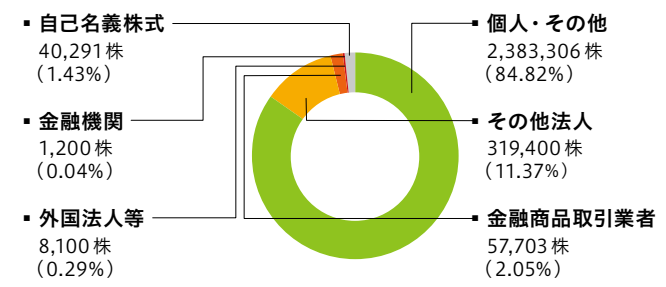


### ➤ 株式の情報（2023年3月31日現在） Stock information

#### ●株式の状況

発行可能株式総数	8,800,000株
発行済株式総数	2,810,000株
株主数	1,923名

#### ●所有者別株式分布状況



#### ●大株主の状況

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
花矢 卓司	909,800	32.85
福村 寛敏	568,700	20.53
アセットインクリーズ株式会社	260,000	9.39
丸谷 和徳	80,000	2.89
中村 剛	71,900	2.60
松本 和久	50,000	1.81
上田八木短資株式会社	35,300	1.27
ディーエムソリューションズ社員持株会	32,100	1.16
株式会社SBI証券	30,118	1.09
金子 主税	24,700	0.89

※持株比率は自己株式を控除したうえで、小数点以下第3位を四捨五入して計算しております。

#### ●株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	3月31日 (そのほか必要がある場合は予め公告いたします)
単元株式数	100株
上場証券取引所	東京証券取引所スタンダード市場
公告方法	電子公告により行います。 公告掲載URL: <a href="https://www.dm-s.co.jp">https://www.dm-s.co.jp</a> やむを得ない事由により電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
同連絡先	東京都府中市日鋼町1-1 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 0120-232-711 (フリーダイヤル) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
各種事務手続き	詳しくは、こちらのページにてご確認ください。 <a href="https://www.tr.mufg.jp/daikou/">https://www.tr.mufg.jp/daikou/</a>